

山口県報道懇話会との懇談会

と き 令和6年12月12日(木) 19:00～

ところ マリーゴールド山口

[報告：常任理事 長谷川奈津江]

医師会と報道関係者との相互理解のため、今年度も標記懇談会を開催した。

加藤会長の開会挨拶の後、山口県報道懇話会の幹事である山口放送山口支社長から挨拶をいただき、その後、出席者による自己紹介を行った。

意見交換

今回のテーマは「マイナ保険証について」とし、最初に伊藤専務理事から、オンライン資格確認の概要を説明した。マイナ保険証を用いたオンライン資格確認により、直ちに患者の直近の資格情報が確認でき、また、マイナンバーカードを用いて本人から同意を取得した上で、受診者の診療／薬剤情報・特定健診等情報を医療者側が見ることが可能になることを説明した。その後、令和6年9月時点での都道府県別のマイナ保険証の利用率では、山口県は18.33%で全国平均の13.87%を上回っていること、富山県、石川県、福井県では山口県より利用率が高く、令和6年1

月に発生した能登半島地震において、災害時の特別措置により、マイナンバーカードによる本人確認ができなくても、診療／薬剤情報・特定健診情報が閲覧できたことが利点となり、前述の地域ではマイナ保険証利用率向上につながっていることを説明した。

続いて、中村副会長から、令和6年6月の日本医師会医療IT委員会の答申を基に、国が進める医療DXと、日本医師会が考える医療DXの違いについて解説した後、日本医師会が2016年に掲げた「日医IT化宣言2016」が、伊藤専務理事が説明したオンライン資格確認等システムそのものであるという日本医師会の見解を説明し、最後に、全国医療情報ネットワークの内容を図表を用いて解説した。

懇談会側からは、その場では質問はなかったが、引き続き行われた懇親会ではマイナ保険証の利用やオンライン資格確認等について多くの質問があり、意見交換を行った。

出席者

報道懇話会

山口新聞社山口支社
朝日新聞社山口総局
共同通信社山口支局
時事通信社山口支局
中国新聞社防長本社編集部
テレビ山口報道制作局
NHK山口放送局放送部
毎日新聞社山口支局
山口放送山口支社

県医師会

会 長 加藤 智栄
副 会 長 沖中 芳彦
副 会 長 中村 洋
専務理事 伊藤 真一
常任理事 長谷川奈津江
常任理事 茶川 治樹
常任理事 縄田 修吾
常任理事 竹中 博昭
常任理事 岡 紳爾